

電気電子工学科の教育研究上の目的と学習・教育到達目標(DP) (2021年度入学生用)

※ DP: Diploma Policy, 卒業認定・学位授与の方針



教育研究上の目的	電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を育成する。
----------	---

学習・教育到達目標

記号	テーマ	電気系コース	情報系コース	電気・通信システム総合コース
(A)	科学技術・人文社会の教養	電気系や情報系技術者に求められる科学技術や文化・思想などの幅広い教養を身に付け、社会の抱える問題を理解できる。		
(B)	技術者としての倫理	電気系や情報系の技術が社会や環境に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理観に従った判断ができる。		
(C)	数理・情報処理能力	専門技術の基礎となる数学や物理学を修得し、電気系や情報系の技術に必要な基本的な計算ができる。また、情報処理技術を修得し、文書やプレゼンテーション資料などを作成することができる。		
(D1)	実験・データ解析能力	各種の実験を計画的に遂行でき、実測したデータを解析・考察することができる。		
(D2)	専門知識の修得・応用能力	電気・電子工学の専門知識・技能を修得し、エネルギーやエレクトロニクス分野などにおける課題解決に活用できる。	情報工学の専門知識・技能を修得し、情報システムやエレクトロニクス、通信ネットワーク分野などにおける課題解決に活用できる。	電気・通信工学の専門知識・技能を修得し、電力・通信インフラ関連分野などにおける課題解決に活用できる。
(D3)	デザイン能力	専門知識を用いて、与えられた課題において問題点を発見し、制約条件を考慮した解決策を見出して課題を解決できる。		
(E)	コミュニケーション能力	技術的な課題について、論理的な記述、対話、発表ができる。また、技術者に必要な基礎英語や技術英語を修得し、英文の大意を理解できる。		
(F)	学修習慣とキャリア形成	常に情報を収集し、自主的な学修やキャリア形成を継続的に行うことができる。		
(G1)	業務推進能力	与えられた制約下で計画的に作業を進め、まとめることができる。		
(G2)	協働能力	チームの目標を達成するために協力して取り組むことができる。		

電気電子工学科の教育研究上の目的と学習・教育到達目標(DP)

(2020年度以前入学生用)

※ DP: Diploma Policy, 卒業認定・学位授与の方針



教育研究上の目的	電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を育成する。
----------	---

学習・教育到達目標

記号	テーマ	電気電子コース	情報通信コース	電気・通信システム総合コース
(A)	科学技術教養	電気系や情報系技術者に求められる科学技術や文化・思想などの幅広い教養を身に付け、社会の抱える問題を理解できる。		
(B)	人文社会教養	わが国と世界の文化、社会、歴史、思想などに関する基礎知識を学び、社会的な問題に対して多方面から考察できる。		
(C)	技術者としての倫理	電気系や情報系の技術が社会や環境に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理観に従った判断ができる。		
(D)	数理・情報処理能力	専門技術の基礎となる数学や物理学を修得し、電気系や情報系の技術に必要な基本的な計算ができる。また、情報処理技術を修得し、文書やプレゼンテーション資料などを作成することができる。		
(E1)	実験・データ解析能力	各種の実験を計画的に遂行でき、実測したデータを解析・考察することができる。		
(E2)	専門知識の修得・応用能力	電気・電子工学の専門知識を修得し、エネルギーやエレクトロニクス分野における課題解決に活用できる。	情報通信工学の専門知識を修得し、情報処理やネットワーク分野における課題解決に活用できる。	電気電子・情報通信工学の幅広い専門知識を修得し、電気系技術分野における課題解決に活用できる。
(E3)	デザイン能力	専門知識を用いて、与えられた課題において問題点を発見し、制約条件を考慮した解決策を見出して課題を解決できる。		
(F)	コミュニケーション能力	技術的な課題について、論理的な記述、対話、発表ができる。また、技術者に必要な基礎英語や技術英語を修得し、英文の大意を理解できる。		
(G)	学修習慣とキャリア形成	常に情報を収集し、自主的な学修やキャリア形成を継続的に行うことができる。		
(H1)	業務推進能力	与えられた制約下で計画的に作業を進め、まとめることができる。		
(H2)	協働能力	チームの目標を達成するために協力して取り組むことができる。		